

平成24年度 指定管理者施設管理評価シート

部 福祉部 課 高齢福祉課

施設名称	〔21〕 東京都台東区立あさくさ高齢者在宅サービスセンター					
指定管理者の名称	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	指定期間	H22.4.1 ~ H27.3.31			
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実を図るため、児童館や高齢者施設の管理・運営を行う。					
(2)類似施設の管理実績	やなか・うえの・みのわ高齢者在宅サービスセンター, せんぞくデイホーム					
(3)経営状況	(23年度決算ベース) [社会福祉事業会計]歳入2,801,147,502円,歳出2,609,179,684円,収支差額191,967,818円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区浅草4-26-2					
(2)設置目的	要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。					
(3)利用者	要支援・要介護と認定された高齢者					
(4)開館日・時間	月曜日から土曜日(年始1月1日~2日を除く)8時30分~17時15分					
(5)規模	延べ床面積 4,588.35㎡の内360.52㎡ 鉄筋コンクリート造地上5階地下1階のうち5階の一部					
(6)人員体制	15名 内訳...事務員(非常勤1)介護職員(常勤5、非常勤8)、看護職員(非常勤1)					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	通所介護・認知症対応型通所介護(送迎・入浴・食事・機能訓練・生活相談等) 介護予防通所・介護予防認知症対応型通所介護(送迎・入浴・食事・生活相談等) (定員 一般型デイサービス:40名、認知症対応型デイサービス:12名)					
(2)自主事業	自主事業は行っていない					
4. 予算決算の推移						
		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
予算	委託料	13,082,000	7,306,000	1,876,000	3,045,350	2,933,000
	料金収入等	121,131,000	118,329,000	125,900,000	112,402,650	116,826,000
	管理経費	134,213,000	125,635,000	127,776,000	115,448,000	119,759,000
決算	委託料	6,166,969	7,306,000	1,876,000	3,045,350	2,933,000
	料金収入等	124,162,681	113,114,421	117,376,147	125,985,866	118,194,681
	管理経費	122,786,980	124,505,183	116,339,495	116,394,293	112,747,065
	収支	7,542,670	-4,084,762	2,912,652	12,636,923	8,380,616
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	
開館日数	日	311	311	311	313	
定員(一般型デイサービス)	人	40	40	40	40	
定員(認知症対応型デイサービス)	人	12	12	12	12	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値(25年度)	21年度	22年度	23年度	
利用率(一般型デイサービス)	%	87.0	82.8	87.4	84.9	
利用率(認知症対応型デイサービス)	%	82.0	77.6	82.2	68.9	

7. 平成23年度評価結果に対する現在までの取組み

引き続き施設内外の研修の充実を図り、サービス水準の向上に努めている。また、今後も継続して利用率の向上、管理経費の縮減に取り組んでいく必要がある。

8. 評価項目
 3：協定等の水準を上回っている。
 2：協定等の水準どおりである。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。
 0：協定等の水準を下回っている。
 -：評価対象外項目。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.2]	(a)施設の目的達成 [2]	(f)開館時間等の遵守 [2]	(g)自主事業の成果 [-]	(h)個人情報保護 [2]
	(b)サービス水準 [3]	(i)緊急時対応 [3]	(j)警備・防犯体制 [2]	
	(c)職員配置 [2]			
	(d)職員研修 [2]			
	(e)案内・接遇 [2]			
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 [2]	(e)危険箇所等の確認 [2]	(f)管理記録の作成・保存 [2]	(g)業務委託の事前承認 [2]
	(b)備品の管理 [2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮 [2]		
	(c)清掃・衛生管理 [2]			
	(d)施設の修繕 [2]			
(3)利用者の満足度 平均 [1.8]	(a)利用者・第三者機関の評価 [2]	(d)利用しやすい環境整備 [2]	(e)関係団体・地域との関わり [2]	
	(b)苦情・要望への対応と報告 [2]			
	(c)利用者数の目標達成 [1]			
(4)歳入歳出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 [2]	(c)収支計画の達成 [2]	(d)利用料等の徴収・管理 [2]	
	(b)経費縮減のための取組み [2]			

9. 評価
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	S	利用者のニーズに応じたサービスの提供など、適切な事業運営がなされている。人員基準以上の職員及び専門職の配置や認知症ケアの研修会の実施等、質の高いサービスを提供するとともに、緊急時の対応や体制整備にも取り組んでいる。
(2)施設の維持管理	A	各種保守点検及び清掃・衛生管理について、全体的に適切に実施されている。施設の老朽化に伴う修繕等の対応についても迅速に行われている。
(3)利用者の満足度	B	利用者の満足度調査においては概ね高評価を得ている。今後とも認知症高齢者の増加に対応するために、より一層サービス内容の普及啓発に努めるなど利用促進を図っていく必要がある。
(4)歳入歳出	A	予算については概ね適切に執行されている。利用率の向上に努めるとともに、収支の改善に取り組んでいく必要がある。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

要努力

質の高いサービスを提供するなど施設の管理については、全体的に適切である。今後とも認知症高齢者の増加に対応するために、より一層サービス内容の普及啓発に努めるなど利用促進を図っていく必要がある。

11. 平成24年度評価結果に対する今後の対応

施設内外での研修の受講など積極的な職員教育を実施し、サービス水準の向上に努め、適切な施設運営を行っている。今後ともサービス内容の普及啓発に努めるなど利用促進を図っていく必要がある。